

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【公開番号】特開 2019-118738 (P2019-118738A)  
 【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-029  
 【出願番号】特願 2018-2428 (P2018-2428)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 10 日 (2019.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な遊技機であって、

設定値を変更可能な設定変更許可状態に制御可能であり、

前記遊技機で発生した所定事象に対応して特定信号を出力可能であるとともに、前記設定変更許可状態の制御に対応して特定信号を出力可能であり、

前記所定事象に対応する特定信号の出力期間と、前記設定変更許可状態の制御に対応する特定信号の出力期間とが異なり、

前記設定変更許可状態に制御されているときに、遊技媒体が前記特定領域を通過しても前記特定制御が実行されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 に示すように、複数段階の設定値を外部からの設定変更操作に基づいて変更する設定変更手段を備える遊技機が提案されている。また、特許文献 2 に示すように、主制御基板の外部出力端子から、「大当たり信号」等が出力される遊技機が提案されている

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報 (段落 0 0 0 7 )

【特許文献 2】特開 2 0 1 4 - 2 0 0 5 0 6 号公報（段落 0 1 0 2）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献 1 に記載されたような遊技機に関しては、遊技機における所定事象の発生状況と、設定値の変更に関連する処理の実行状況とを、外部装置側で区別して認識することが必要となる場合があるが、特許文献 2 に記載されている従来の遊技機の信号出力技術を適用しても、外部装置側で両者を区別して認識することが困難であるという課題がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、遊技機における所定事象の発生状況と、設定値の変更に関連する処理の実行状況とを、外部装置側で区別して認識することが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

（A）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、  
遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて、設定値に応じた特定制御を実行可能な遊技機であって、  
設定値を変更可能な設定変更許可状態に制御可能であり、  
前記遊技機で発生した所定事象に対応して特定信号を出力可能であるとともに、前記設定変更許可状態の制御に対応して特定信号を出力可能であり、  
前記所定事象に対応する特定信号の出力期間と、前記設定変更許可状態の制御に対応する特定信号の出力期間とが異なり、  
前記設定変更許可状態に制御されているときに、遊技媒体が前記特定領域を通過しても前記特定制御が実行されない  
このような構成によれば、所定事象の発生と、設定値の変更に関連する処理が実行されたことを、区別可能な態様で外部に通知できる。

また、従来の遊技機として、特開 2 0 1 6 - 1 0 1 4 2 8 号公報で示されているような、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機がある。このような遊技機において、さらに演出効果を高めることが望まれている。

（1）上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、  
遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1）であって、  
前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 CPU 1 2 0）と、  
前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 CPU 1 2 0）と、を備え、  
前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 8 - 2（D）、（F））。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。